

6月新着図書



野庭すずかけコミュニティーハウス

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。

逆ソクラテス

著者名：伊坂幸太郎

敵は、先入観。世界をひっくり返せ！伊坂幸太郎史上、最高の読後感。デビュー20年目の真っ向勝負！無上の短編5編（書き下ろし3編を含む）を収録。＜収録作＞「逆ソクラテス」「スロウではない」「非オプティマス」「アンスポーツマンライク」「逆ワシントン」



合唱 岬洋介の帰還

著者名：中山七里

幼稚園で幼児らを惨殺した直後、自らに覚醒剤を注射した“平成最悪の凶悪犯”仙街不比等。彼の担当検事になった天生は、刑法第39条によって仙街に無罪判決が下ることを恐れ、検事調べで仙街の殺意が立証できないかと苦慮する。しかし、取り調べ中に突如意識を失ってしまい、目を覚ましたとき、目の前には仙街の銃殺死体があった。指紋や硝煙反応が検出され、身に覚えのない殺害容疑で逮捕されてしまう天生。そんな彼を救うため、あの男が帰還するー！！

焦眉

著者名：今野敏

東京都世田谷区の住宅街で投資ファンド会社を営む中年男性が刺殺され、捜査一課の樋口頭も現場に急行した。警視庁が特捜本部を設置すると、東京地検特捜部の検事・灰谷卓也が現れる。灰谷は野党の衆議院議員・秋葉康一を政治資金規正法違反容疑で内偵中だった。秋葉は殺された男性と大学時代から親しかったらしく、殺害現場付近の防犯カメラには秋葉の秘書が映ってもいた。それらの事実だけを理由に灰谷は秘書の身柄を拘束。樋口は証拠不十分を主張するも、灰谷は独断で逮捕に踏み切ってしまう……。自己評価が低く、上司の顔色を窺い、部下を気遣い、家族も大切にすー等身大の刑事の生き様を照らし出す人気シリーズ、最新作。

告解

著者名：薬丸岳

心から笑える日は来るのだろうか。罪から逃げ続けた僕にー。江戸川乱歩賞受賞作『天使のナイフ』吉川英治文学新人賞受賞作『Aではない君と』凄惨な犯罪に向き合い続ける著者だから見つけた、贖罪の「先」にあるものとはー。祈りに溢れた慟哭の傑作長編。大学生の籬翔太は、飲酒運転中、よそ見をした際に何かに乗り上げたような衝撃を受ける。恐怖からその場を走り去ってしまうが、翌日、一人の老女ー法輪君子の命を奪ってしまったことを知る。下された懲役四年十ヵ月。刑に服し、罰を受けた後も、翔太は遺族に謝罪に行けずにいる。一方、君子の夫・二三久は、“ある思い”を胸に翔太の出所を待ち続けていた。

迷宮の月

著者名：安部龍太郎

日本の安定のためにはこの外交交渉が不可欠だー栗田真人は重要な機密を胸に波濤を超え長安を目指す。唐を舞台とする歴史情報小説。



逃亡者

著者名：中村文則

「君が最もなりたくない人間に、なってもらおう」第二次大戦下、“熱狂”“悪魔の楽器”と呼ばれ、ある作戦を不穏な成功に導いたとされる美しきトランペット。あらゆる理不尽が交錯する中、それを隠し持ち逃亡する男にはしかし、ある女性と交わした一つの「約束」があったー。キリシタン迫害から第二次世界大戦、そして現代を貫く大いなる「意志」。中村文学の到達点。



恋愛未満

著者名：篠田節子

円満離婚が成立し実家に戻ると、母親の様子がおかしい。「認知症」だった……（表題作）。女性にとって身近な問題や悩みを、著者独自の視点や自身の経験を交えて織りなす全5編の短編集。



駆け入りの寺

著者名：澤田瞳子

比叡山のふもとに建つ豪華な比丘尼御所。二人の皇女を中心に公家文化が息づくこの寺に、それぞれの苦しみを抱えて逃げてくる者たちがいた。古い友人から借金をして逃げた老女。非の打ちどころのない縁談から逃げる若者。妻子を捨てて出奔した武士。幼子を寺の前に捨てる老夫婦。「僧尼とは古来、いたいたしい者を助け、手を差し伸べるが勤め」心があたたかくほどける連作短編集。